### 城山台小学校児童急増対策 現在の進捗状況について

### 1 基本方針

城山台小学校では、多くの子どもたちや教職員の多様性を生かした「一人ひとりの能力・適性 を最大限に伸ばす教育」の推進を目指し、「児童の安心・安全な教育環境の確保」「教職員の指導 力・学校の組織力・地域連携の充実」を図るための施策を計画的・段階的に講じています。

### 2 対策の具体と進捗状況

施行計画と現在の進捗状況をお知らせします。

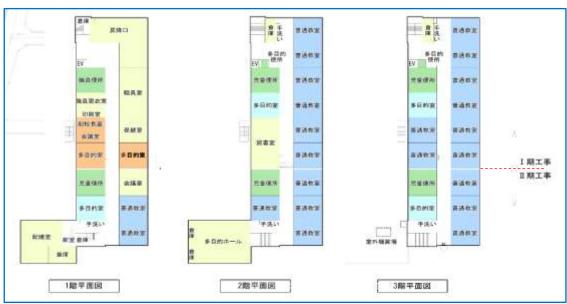
#### (1) 新学舎建設計画

・敷地内に新学舎(ふたば学舎)を設置し、機能的に独立した 組織運営を実施しています。



	施策計画		R5の進捗状況
ア	I 期工事···R 2年度施工	<b>\$</b>	新学舎(ふたば学舎)は R3年3月
	普通教室 14、多目的室 3、副校長室、職員室、		25 日完成し、2、3 年生が使用して
	保健室、図書室、会議室、仮配膳室を設置		います。
1	Ⅱ期工事···R3年度末~	<b>\$</b>	R5 年3月に増築工事が完了。普通
	普通教室 9、多目的室 2、会議室、多目的ホー		教室 9、多目的室 2、会議室、多目
	ル、配膳室を設置、各階にトイレ・手洗い場を		的ホール、配膳室が新たに利用でき
	増設		るようになりました。
		<b>♦</b>	今年度は、ふたば学舎に2、3年生
			の教室や特別教室等を配置していま
			すが、令和6年度より2、3年生以
			外の学年も教室を配置する予定で
			す。

### <増築校舎(Ⅱ期)平面図 | ~3階>



### (2) 南西門の建設

・遊歩道沿いに「南西門」が完成し、子どもたちは毎朝3つの門から登校しています。

施策計画		R5の進捗状況		
ア	遊歩道沿いに南西門を建設。登	₿校時に3か所の	<b></b>	「ミマモルメ」の工事も完了し、本
	門から登校	THE PARTY OF		格的に利用を開始しています。
	The same of the sa		<b>\$</b>	登校時の混雑が緩和され、よりスム
				ーズに登校することができるように
		1		なりました。

# (3)

3)	運動する場・遊びのスペースの確保		
	・運動場・体育館・プールの混雑を緩和するとともに	、休	憩時間に運動する場を確保します。
	施策計画		R5進捗状況
	ア 城址公園グラウンドの活用	<b></b>	R5年度は、4、5、6年生の体育を
	·R3 年度より、5、6 年生の体育を実施		実施しています。
	・突然の降雨や雷	<b></b>	移動用スクールバス2台を、R3年
	雨、熱中症対策		3月末に購入し活用しています。
	として空調完 より として空調完 しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	<b>\$</b>	グラウンド南東に空調設備完備の
	備の休憩所を		休憩所が完成し活用しています。
	設置		
•	イ ひだまりホールを建設	<b></b>	体育の授業、特別授業、中間休み・
	・体育に限らず集会活動、異年齢集団活動、教		昼休みの遊び場として開放したり、
	科の体験活動や休憩時間の遊び場として活		自治会の活動や投票所、避難所など
	用		地域の行事等にも活用しています。
	ウ 民間プールの活用	<b></b>	昨年度に引き続き、2、3年生の水
	・水泳学習の場として民間スイミングスクール		泳授業を民間スイミングスクール
	に委託し、2、3年生の授業を実施。		の協力のもと実施しています。
			(2年生は5月~6月、3年生は6
	The state of		月~7月に実施予定。)
		<b></b>	校外での学習に備え、学校用携帯電
			話と AED を配備しています。

- エ 中庭に人工芝を設置 ・遊び場、憩いの
  - 場を整備



中庭にゴムチップ舗装を施し、屋外 での授業や遊び場・憩いの場として も活用しています。

- オ 多目的ホールを増設(ふたば学舎2階)
  - ・集会活動や授業等で使用する多目的スペース を整備
- ◆ 今年度より、ふたば学舎の2階に多目的ホールを増設し、学年集会やゲストティーチャーを招いての授業、マット運動などの体を動かす場としても使用しています。

### (4) 学習指導·生徒指導対策

・専門顧問や教職員等の人的配置(ソフト面)と教材・教具の充実(ハード面)の両面からの整備により、学校体制を構築します。

	施策計画	R5進捗状況	
ア	専門顧問を配置	<b>\$</b>	今年度も、3名の大学教授を専門顧
	・学校経営、学力向上、いじめ生徒指導の各観		問として委嘱しました。
	点から専門的な知見を得て、校内指導体制を		・(いじめ・生徒指導領域)
	強化		原清治 佛教大学副学長
			・(学校組織マネジメント領域)
			浅野良一 兵庫教育大学大学院
			特任教授
			・(学力向上領域)
			黒上晴夫 関西大学教授
		<b>\$</b>	校内指導体制を強化し、年間を通じ
			て学校において現状分析や教職員
			向けの研修会等を実施しています。
1	人的配置の充実	<b>\$</b>	今年度は、ふたば学舎に学舎長(教
	・ふたば学舎長(教頭)、		頭)を配置しています。
	養護教諭、事務職員、 💮 🚺	<b></b>	英語専科教員をR3年度より専属配
	英語専科教員、		置しています。
	スクールカウンセラー、	<b>♦</b>	主幹教諭、養護教諭、事務職員、特別支援教育支援員、学校司書、用務
	教育支援員、学校司		別文版教育文版員、子校可音、用協具、配膳員、教員業務支援員(スク
	書、用務員、配膳員		ール・サポート・スタッフ)をふた
	を配置または増員		ば学舎にも配置しています。
ウ	ICT 教育の推進	<b>\$</b>	市情報教育研究会を中心に市立学
	・GIGA スクール構想に基づくオンライン授業		校全体としての取組みを推進して
	の推進		います。
	・個別最適化された学びと協働的な学びの実現		
エ	教材・教具の充実	<b>\$</b>	定期的に学校と市教委が協議を持
	・ピーク時を見通した備品整備を計画的に実施		ち、連携を密に取りながら整備しま
<u> </u>	W.U. there are the		す。
オ	学校菜園の確保	<b>♦</b>	運動場東側ビオトープ付近等に菜
	・校内に栽培活動の場を確保		園を設置し活用しています。

### (5) 学校の安全対策

・専門家の助言を得ながら、防災・防犯の両面から対策を講じます。

・◆ R4年度に続き、危機管理課より
安全顧問を配置しています。
▶◆ R4年度に続き、管理栄養士をよ
つば学舎、ふたば学舎ともに配
置しています。
・◆ R4年度に続き、2名を配置して
います。
危機管理課安全顧問の助言を受け
ながら、マニュアルに基づき避難訓
練等の安全教育を実施しています。
ふたば学舎増築棟にも防犯カメラ、
センサー、ミラー、インターホン、
新たに南西門を設置しました。
R3年度より、ふたば学舎にも学校
医、歯科医、薬剤師を配置し、児童
の健康管理と相談体制を強化して
います。
小中学校で連携し、通学路の安全確
保に向けた取組を定期的に協議し
ています。
令和4年度に交差点のガードパイプ
が完成し、横断歩道も新たに引き直
しました。
歩きやすい歩道となるよう、植樹マ
スを埋めて面積を広げるとともに
路面をフラットに整備しました。

## (6) 保護者・地域との連携

・地域に開かれ、地域に支えられ、地域に信頼される学校づくりを推進します。

施策計画	R5進捗状況			
ア 城山台小学校をコミュニティ・スクールに	◆ R3 年度に学校運営協議会を導入し			
・学校運営協議会を導入	ました。学期に   回程度会議を実施			
・学校運営方針への理解と協力を得る	し、取組を推進しています。			

### (7) 学校選択制の導入

・城山台小学校区を学区外就学特定地域とし、他校への就学を承認します。

施策計画		R5進捗状況	
ア	特定地域学校選択制を導入	<b>\$</b>	R3年度より実施しています。
	・城山台小校区すべての未就学児及び転入児童を対象	<b>\$</b>	R5年度は、I7名の希望があ
	·初年度(R3年度)は全在籍児童·来入児及び転入児		りました。
	童を対象		

### (8) 進学先中学校区の変更

・令和5年度より、進学先中学校区を変更しました。

施策計画	R5進捗状況		
ア 進学先中学校区を変更	◆ 今年度のⅠ年生より進学先		
・城山台9、10、11、12、13 丁目⇒木津南中学校へ	中学校区を変更しました。		
・その他の地域 ⇒木津中学校へ			

### (9) 児童クラブ

・ひだまりホールに、城山台児童クラブ3号館を設置しています。

したようか ルに、城山口九里ノフノスラ路と改直していより。				
施策計画		R5進捗状況		
ア 城山台児童クラブ3号館	を設置	<b></b>	R4年度より供用開始してい	
・ひだまりホール2階			ます。	
に保育室3室、トイ		<b></b>	既存の   号館、2号館と連携	
レ、静養室を設置	Janes 2		し、運営にあたっています。	

### 3 教職員組織体制の質的・量的充実

児童数の増加に伴い、今後、教職員数も増加します。

城山台小学校では、令和3年度より、2つの学舎においてそれぞれ独立した組織運営を行うことを基本とし、令和5年度も引き続き実施しています。

学年運営については、各学年の実働グループをA・Bの二つに分け、主任と副主任がグループ 長を務めます。グループ長のタッグにより、グループごと、グループ相互の協働体制を構築します。

また城山台小学校では、校内研究において、教職員の主体性を重視し、授業改善についての研究を推進しています。令和3年度より、<u>各専門顧問(大学教授)の知見を得ながら、組織全体の底上げにつながるよう研修を重ねてきました。</u>さらに、今年度から、<u>学年集団を超えて些細なことでも気軽に相談できるように、メンターパーティー制度を導入しています。</u>

木津川市教育委員会としても、城山台小教職員の質的・量的充実を図り、支援してまいります。

### 〇 城山台小 GS 式教職員組織 ※G S…Group Synergy (グループ同士の相乗効果・協働)

